



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 10 No. 2866

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ

2024-2025年度RI会長 ステファニーA.アーチック



2024-2025年度RI第2500地区スローガン

2024-2025年度RI第2500地区ガバナー小谷典之

ロータリーに参画しましょう!

誰かのために、あなたのために、自分のために

RIホームページ

<https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページ

<http://rid2500.jp>

2024-2025年度士別ロータリーのスローガン

感謝と奉仕の心を持って

～私たちの喜びが地域社会の喜びとなりますように～



■会長/谷 温恵

■副会長/但木 行久

■幹事/近井 孝義

■例会場/士別グランドホテル

■例会日/毎週月曜日 12:10~13:00

■事務所/士別グランドホテル TEL0165-23-1234

士別RCホームページ <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

第2953回例会 2024年10月 7日(月)

今日のプログラム

・普通例会・誕生祝い

前回(9月30日)の記録・夜間例会

司 会 谷村一文 会場監督
 斉 唱 それでこそロータリー
 本日の出席 会員 45人中 出席者 45人 出席率 100%
 本日の欠席

メイクアップ 志村孝幸、菊地昭通、近藤峯世、宮崎隆雄、福島和秀、寺山佳之、織戸俊二、大江智宣、谷村一文、榎本實男、佐藤元信、山本政史、近井孝義(人の波旗の波交通安全街頭啓発参加(9/24))
 織戸俊二、佐藤元信、谷村一文、近井孝義(交通事故ゼロを目指す日啓発運動参加(9/30))

ゲ ス ト

ニコニコBOX

累計 124,000円

例会予定

■10月例会日[経済と地域社会の発展月間・米山月間]

- 10月 7日(月) 普通例会・理事会
- 10月14日(月) 休会(法定休日:スポーツの日)
- 10月21日(月) 普通例会
- 10月28日(月) 夜間例会

■11月例会日[ロータリー財団月間]

- 11月 4日(月) 休会(法定休日:文化の日)
- 11月11日(月) 普通例会・理事会
- 11月18日(月) 普通例会
- 11月25日(月) 夜間例会

■会務報告・・・・・・・・・・・・・・・・谷温恵 会長

ロータリーの特別月間は、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が設けている月間のことですが、9月と10月には日本独自の月間テーマが設定されています。9月はこれまでお話ししました、「基本的教育と識字率協調月間」がありますが、合わせて、「ロータリーの友月間」でもあります。

ロータリーの友は日本のロータリークラブ会員の為の雑誌であります。1952年(昭和27年)4月25日、大阪で開かれた地区大会において、次年度から日本が2つの地区に分割されることが決定している中、それまでまとまっていた日本のロータリアンが2つの地区に分かれるとのことで、寂しさと期待の入り混じった雰囲気は当時の人にはあったようです。

創刊に際しましては、このように2つの地区になってからも連絡を綿密にするために、共通の機関誌の企画がされたのであります。

第1回の準備会では東側と西側の雑誌に対するイメージがかなり違っていたようで、西は謄写版刷りの簡単なもので良いから早く制作を願い、東は謄写版では手軽過ぎて恒久性がないのではじめからきちんとしたものを望んでいたようで、はじめの会では具体的にはならなかったとのことでした。

第2回の準備会では岐阜RCの遠藤健三氏が世話役となり、具体的案と共に、遠藤氏提案の雑誌名が投票によって「ロータリーの友」に決定したそうです。この名前は、当時、ビールの友からヒントを得たのではと大爆笑したそうですが、後日談として、月刊誌主婦の友からヒントを得たと述べられています。

定価に関しましても、東西が対立し、遠藤氏が仲裁案である50円を出しました。雑誌の体裁は東の活版案になったとのことでしたが、活版で作成すると93円75銭かかり、予算不足はあきらかでありましたが、遠藤氏ははじめから広告で補填していくことを考えていたそうです。定価100円は1962年12月まで。その後10円上がり1974年まで110円にて持ちこたえていましたが、印刷代や諸物価の高騰により、1975年1月号から200円、そして2022年7月号から275円に改定され現在に至っています。

顧みますと「ロータリーの友」のはじまりは発行部数3,300部、横組みで作られた創刊号から1980年にはRI公式地域雑誌の認定、1986年にはモノクロから2色刷り、その後はマット調の用紙への変更、活版印刷から写植印刷へ、創刊50周年にはコンピューター編集へ、大きさもB4からA4へ、電子版の発行、デザインの変更等、様々な変遷を経て2023年1月には創刊70周年を迎えています。

入会してから当たり前のようになっている「ロータリーの友」ですが、あらためて知ると読み方も違ってくるのではないのでしょうか。また、ロータリーの友手引書を読みますと、ロータリーの友に掲載されるコツや残念な原稿や写真についても書かれていて、なかなかシビアで面白いなと思いました。皆さんにも是非見ていただき、今後の活動に役立つと良いかと存じます。

今回、「ロータリーの友」の始まりを知ると同時に、ロータリアンがどんな時もしっかりと意見を出し、仲裁役によって導かれ、案を出し、何事も話し合いで決議されていることに敬意を持つと共に誇りに思いました。これからもこの雑誌を通して、RIの思い、私たち日本人の考えを知り、活動に役立てていければ幸いです。

■幹事報告・・・・・・・・・・・・・・・・近井孝義 幹事

1. 士別地区安管事業主会より秋の輸送繁忙期の交通安全啓発の案内が来ております、日時は、10月7日午後3時、場所は剣淵道の駅です、沢山の参加よろしくお祈いします。メイクアップの対象です。
2. 9月24日人の波旗の波に参加いただいた会員の皆さんお疲れ様でした。13名の参加でした。
3. 本日も剣淵の道の駅にて交通死亡事故ゼロを目指す日で協力いただいた会員の皆さんお疲れ様でした。
4. 財団室ニュースが届いております、回覧ファイルに入れておきます。
5. 2024-2025年度第2500地区ガバナー事務所より、2027-2028年度ガバナー候補者推薦要綱が届いておりますのでお知らせいたします。
6. ロータリーの公共イメージニュースが届いておりますのでお知らせいたします。

●会員卓話・・・・・・・・・・・・・・・・南條忠勝 会員

今年の1月から当ロータリークラブに入会させて頂きました。既に70歳を超えての入会だけに不安もありますが今後ともよろしくお祈いいたします。

私は剣淵の山奥の農家で生まれました。その頃は、ランプと井戸水の生活でしたが、高校まで無事に卒業出来、地元での就職を機に、士別森林組合に昭和51年4月入社いたしました。それから47年間を経て今に至ります。現在は代表理事組合長として6年が経過しております。

入社当時は、林産事業として造林・植林を200ha程こなしていました。現在は、集成材・合板材・バイオマス用材など利用が広がってきてはおりますが、森林所有者の所得に十分には繋がっていないと感じておりますし、30~40年後の収穫時にしか収入にならない事などを考えるに、まだまだ、改善していきたいと考えております。

森林は、国土保全、地域産業資源でありますので、皆さまの信頼を得ながら、森林を守って行きたいと思っております。